

# 1 小学校高学年用「はつもうで」 指導例

本資料は、我が国の伝統と文化として、正月の祝い膳<sup>ぜん</sup>に用いる「雑煮」や、その年初めて社寺に参詣<sup>さんけい</sup>する慣習「はつもうで」を取り上げ、身近な日本の伝統と文化について考えることから郷土や国を愛する心情を育むことをねらいとして作成している。桜井市を舞台に、大神神社や古事記に記された三輪山伝説などを取り上げており、郷土や我が国の伝統と文化を育み、継承してきた先人の心について、身近な生活の中に息づく日本の伝統と文化とつなげながら考えることができるようにしている。

展開前段では、小さい頃から言い伝えや古墳に興味があった父や、真剣な面持ちでお参りをしている人々の姿を通して、自分も日本の伝統と文化に興味・関心をもつようになった主人公の心情に共感させたい。また、展開後段では、身近な生活に息づく日本の伝統と文化について振り返らせ、それらを育てた先人の思いや願いを考えることから、自分たちもまたそれらを継承、発展させようとする態度や、郷土や我が国を愛する心情を高めたい。

- ◆ **主題名** 日本的心 指導内容 高4－（7）
- 資料名** はつもうで （奈良県郷土資料 奈良県教育委員会）

## ◆ ねらい

小さい頃から言い伝えや古墳に興味があった父や、真剣な面持ちでお参りをしている人々の姿を通して、自分も日本の伝統と文化に興味・関心をもつようになった主人公の心情に共感させ、郷土や我が国を愛する心情を高める。

## ◆ 展開

	学 習 活 動	主な発問と予想される児童の意識	指導上の留意点	備考
導 入	1、正月の行事について話し合う。	○ 正月には、どんなことをしていますか。 ・おせち料理やお雑煮を食べる。 ・お年玉をもらう。 ・はつもうでに行く。	・自由に意見を出し合わせ、資料や本時の話し合いへの興味を喚起する。	
展 開	2、資料「はつもうで」を読んで話し合う。	○ 家の雑煮について話し合ってみましょう。 ・ぼくはきな粉はあまり好きでないから、そのまま食べるよ。 ・合わせ味噌 <sup>みそ</sup> でニンジン、大根、里芋、お餅 <sup>もち</sup> が入ってる。 ・うちはすまし汁。鶏肉も入ってる。	・資料中の雑煮のエピソードを踏まえて、児童それぞれの家の雑煮について自由に交流させ、身近な生活に伝統的な文化が息づいていることに気付かせる。	補 助 写 真

展		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ お父さんは、どんな思いから昔の言い伝えや古墳などを調べてきたのでしょうか。</li> <li>・どんなことを昔の人たちが考えていたのか興味があるな。</li> <li>・どうして言い伝えや伝説などが伝えられてきたのか知りたい。</li> <li>・昔の人たちも、お寺や神社でいろいろなことをお願いしていたのかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な地域の言い伝えや古墳などのいわれについて、知っていることを話し合うなどして、小さいころから昔の言い伝えなどに興味があった父に共感できるようにする。</li> </ul>	
開		<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ お参りをしている人々が、みんな真剣な面持ちで頭を下げていることに気付いたとき、トモキはどんなことを思ったのでしょうか。</li> <li>・みんなそれぞれに願いがあるんだな。ぼくと同じだな。</li> <li>・昔から大神神社には、こうして多くの人たちが参ってきたんだろうな。</li> <li>・お参りしている人たちの一生懸命さも日本の心なんだろうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お参りをする人々の厳粛さに着目させるとともに、それぞれの願いについて想像させることなどを通して、新しい年の健康と幸せを祈るはつもうでが、昔から大切に受け継がれてきた文化であることに気付いたトモキの心情にせまることができるようにする。</li> <li>・ワークシートに書き込むことを通してじっくりと考えさせ、それを基に積極的に話し合えるようにする。</li> </ul>	ワークシート
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ あなたの知っている「日本の心」には、どんなものがありますか。</li> <li>・和服にはとてもきれいな柄の着物があって、私は好きだな。</li> <li>・木造の家は、障子やたたみなどがあって、夏は涼しいよ。</li> <li>・お正月やお盆、秋祭りなどの行事もそれぞれいわれがあって、ずっと受け継がれてきているものだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雑煮について話し合ったことも振り返りながら、さらに自由に意見交換することで、日本の伝統や文化について考えを広げたり深めたりできるようにする。</li> </ul>	
終末	<p>3、「心のノート 小学校5・6年」106、107ページを開き、受け継がれてきた伝統や文化について考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「心のノート 小学校5・6年」106、107ページを開きましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「心のノート」を読んだり書き込んだりすることを通して、受け継がれてきた伝統や文化を自分たちも継承、発展させようとする態度や、郷土や我が国を愛する心情を温めるようにする。</li> </ul>	「心のノート」

※「心のノート」は、次のURLよりダウンロードできます。

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/doutoku/index.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/doutoku/index.htm)